医療等分野データ利活用プログラム（案）　2016年3月版

データベース
事業・システム運用関連
データの利活用関連

資料1－2

年度	～2015（H27）	2016（H28）	2017（H29）	2018（H30）	2019（H31）	2020（H32）～

関連制度等

- 改正個人情報保護法施行
- 医療等分野のIDの導入（H30年度から段階的に）
- 医療等分野のIDの本格導入
- 医療情報の代理機関制度（仮）に関する検討
- 電子カルテデータの標準化の環境整備

医療情報をデータ標準等により広く収集するデータベース

データの種類：レセプトデータ／特定健診データ／DPC データ／検体検査結果等 数値/ 画像データ／レポート・医師の所見等 テキストデータ／ヘルスケアデータ 生活情報等

- 国立病院機構診療情報集積基盤（NCDA）
- 医療情報データベース基盤整備事業（MID-NET）
- レセプト情報等データベース（NDB）
  - 行政機関・研究者向け特別抽出、集計情報提供（H23.11~）
  - オンサイトリサーチセンター運用ルール確立　試行運用開始（H27.12~）
  - 公益目的研究利用の法律上の位置付け制度的枠組みの検討・結論
  - オンサイトリサーチセンターの活用方策検討
  - NDBオープン・データ（H28.夏目処）　（オープン・データ作成の過程において適宜民間企業等の要望を入れていく方針）
- DPCデータベース
  - 行政機関向け試行提供開始（H26.10～）
  - データベース構築（H28年度中）
  - システムの運用開始
  - 民間提供等の拡大を検討
- 本格運用に向けた①利活用の範囲（目的・利活用者）②利活用ルール③運営費用負担等について検討・結論（H29.夏目処）
  - 本格運用の準備
  - 300万人データの分析・活用
- 第三者による利活用を含めた取扱規定の作成
  - ①41病院データの分析・活用　②医療の質の向上、経営効率化及び研究への利活用開始　③実施病院等の順次拡充

医療情報に関する代理機関（仮）

医療情報に関する代理機関制度（仮）の開始（H30年度を念頭に検討中）

疾患・領域別データベース

法律に基づいて悉皆性を有するもの

- 診療録直結型全国糖尿病データベース事業（J-DREAMS）
  - 収集開始（H27～）
  - 研究提案によるデータ利用について委員会で採否を検討（H28～）
- 小児と薬情報収集ネットワーク整備事業
  - システム開発
  - 収集開始（H27～）、一部システム稼働開始
  - 利活用に向けた検討を開始（H28～）
- 神経・筋疾患患者情報登録システム（Remudy）
  - 収集開始（H21.7～）
  - 情報開示依頼を受けた場合、研究内容の審査に基づいて集計結果を提供
- 小児慢性特定疾患登録管理データ運用事業
  - 児童福祉法改正法施行（小児慢性特定疾病）H27.1～
  - 一部システム試験運用
  - システムの本格運用開始
  - 小児慢性特定疾病の集計結果を提供（検討中）
- 難病データベース（仮称）
  - 法施行（難病）H27.1～
  - システム開発
  - システムの本格運用開始
  - 指定難病の集計結果を提供（検討中）
- 全国がん登録
  - がん登録データベースの整備
  - がん登録情報の記録
  - 調査研究での効果的な利活用

介護関連

- 介護保険総合データベース
  - 介護保険レセプトデータ、要介護認定情報等を収集
  - 地域包括ケア「見える化」システムにおいて情報提供を開始（H28.7予定）

医療データの利用拡大のための基盤整備

1. 既存データベースの拡充・相互利用研究：ユースケースのリストアップ → 技術的課題、ルール検討 → プログラム仕様の作成 → プログラムの試験運用 → プログラムの本格運用（予定）
2. 医療施設等の自律的向上化研究：ユースケースに基づく指標及び技術的課題の検討 → プログラム仕様の作成 → プログラムの試験運用 → プログラムの本格運用（予定）
3. 電子カルテデータの標準化研究：SS-MIX2等の標準性能、標準機能の向上など技術的課題の検討 → データの互換性、移植性の検討 → 精度の検証 → システム切替時に順次実装（予定）
4. データの共通化研究：単位等の統一化、変換式の検討など技術的課題の検討 → 精度の検証 → 精度の検証 → マスター更新時に順次実装（予定）
5. 臨床研究等ICT基盤構築研究：収集・利活用を行うためのデジタル基盤の仕様検討及び検証 → 匿名化、加工し、二次利用をできるようにするためのデジタル基盤の仕様検討及び検証 → 事業化検討
6. 機械学習化研究：機械学習化の検討　診療方針決定プロセスの客観化および人工知能化の検討 → ハイブリド化の検討　電子カルテ連結の検討 → サービス事業化検討